

「今回の採用は1人か2人。良い人がいなければ、1人でも…」とお考えの社長様

1人と2人以上はまったく違います！！中小企業の若手採用は『2～4人』がおススメです

1. 資料の背景

われわれジェイックでは、7,284名の社会人を送り出してきた「JAIC営業カレッジ®」、また新入社員研修『仕事の基礎の基礎』などを通じて、“新人・若手社員の採用と育成”に関して、多くの知見とノウハウを溜めてきました。

その中の1つが、「採用人数と定着率」の関係です。今まで、2,000社以上の中小企業で採用支援に携わり、定着調査を行っているジェイックだから分かった事実です。この結果を、多くのお客さまにお伝えし、若手の定着、育成に生かしていただければと思います、資料を作成いたしました。

基となるデータは、「新卒」：ジェイックの開催する新入社員研修『仕事の基礎の基礎』の参加者（2012年71社269名、2013年134社431名）、「中途」：JAIC営業カレッジ®（2011年8月1日～2012年7月31日）を通じて就職した1,020名（入社先598社）を調査対象としています。なお、調査対象の企業規模は、84%が100名以下、11%が101～300名、4%が301名以上となっています。

2. 採用人数と定着率の関係

採用人数	新卒		中途（20代・未経験者）		
	3か月定着率	1年定着率	3か月定着率	6か月定着率	1年定着率
1名	89%	71%	93%	89%	86%
2～4名	100%	96%	99%	98%	96%
5名以上	98%	79%	100%	95%	93%

新卒・中途を問わず、定着率が1番高いのは【2名～4名】採用です

5名以上の採用になると、企業ごとの定着率のバラつきが非常に大きく、企業の受け入れ力、教育力が定着率に大きく影響します。同期の中でもいくつかのグループに分かれてしまうため、2～4名と比べると結束力が弱くなることが推測できます。

3. 採用人数と入社後の成功・失敗事例

【複数採用の成功事例】

- まったくタイプの違う2人を採用。1人は活躍し、1人はまだまだ成果が上がらず、日々怒られているが、励まし合って頑張っている（不動産業、社員25名）
- 座学や現場研修が続きモチベーションが落ちていたが、「お互い励まし合いながら頑張ってます！ただ営業はじまったらライバルなんで負けません！」と連絡が来る（製造業、社員97名）
- 男女のペアで採用したが、でまったくタイプが違うので、お互い自分に無いものをもっていることを理解しており、指摘し合ったり励ましあっている（専門商社、社員32名）
- ベンチャー企業で教育制度も整っておらず、また業務内容としてもテレワークが中心の厳しい業務内容。ただ、同期3人で協力してなんとか続けている（専門サービス、社員42名）
- 仕事はハードだが、必ず2名～4名程度を同時に採用いただくようになり、ここ最近の定着率は非常に高い。同期のつながりがあることが助けになっている（専門サービス、社員273名）

【1名採用の苦戦事例】

- 社内で社長批判の声があり、それを聞いた本人も誰にも相談できない状態。弊社に相談に来てくれたが、入社した時の元気さはなくなっていた
- 直属の上司は40代の専門職。その中で初めての女性営業として配属。年齢差があることもあり、上司への相談がなかなか出来てない。相談できる人がいないと悩んでいる状態
- 最近、採用はしておらず、社内の活性化を期待して採用。ただ、1つ上の先輩が30代後半という状態で「相談できる人がいない」と弊社に連絡に来る

同期がいることで、お互いに相談・励まし合うことでストレスを溜めない。また、相手の活躍に刺激を受け、成長意欲が高まる